

# Together

Shukutoku University Magazine  
No.241 | 2023.10.1

学長メッセージ

社会で活躍するための力を  
身につけ可視化していく

## 特集 海外研修

ウーロンゴンカレッジ 英語・異文化研修

ウィズ・ユー 在学生紹介

障がい者アートをつうじて

淑徳人 No.238 Interview

楽しみながら、  
周りとの力を合わせて社会課題の解決

ともいきのこころ

学祖・長谷川良信先生の足跡

淑徳トピックス

新設学科 第一期生に聞きました！  
教員に聞きました！

CAMPUS NEWS



# 学長メッセージ



淑徳大学 学長  
山口 光治

社会で活躍するための  
力を身につけ  
可視化していく

みなさんは、淑徳大学を卒業するまでにどのような力を身につけられ、何が得られるかご存じでしょうか。基本的な問いですが、とても大切なことですので、本号のテーマとしました。

それは「卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）」と、淑徳大学、そして学部・学科の教育理念に基づき、どのような力を身につけた者に卒業を認定し、学位を授与するのかを定める基本的な方針であり、みなさんの学修成果の目標ともなるものです。

この方針は、第一に社会の構成員として必要な基本的な知識・技能・態度を有すること、第二に専門教育分野における知識・技能・態度を有することについて定めており、それらを修得したものに卒業を認定し、「学士」の学位を授与するものです。そして、この卒業認定・学位授与の方針に基づいて「教育課程編成・実施の方針」（カリキュラム・ポリシー）を編成し、そこに記載されている知識・技能・態度を身につけるためにさまざまな科目を体系的に配置しています。

例えば、社会の構成員として必要な基本的な知識・技能・態度は、大学共通基礎科目として配置され、今年度からはS-BASIC科目として整備されました。その中に、基本的なコミュニケーション能力を養うために表現技法科目や英語科目を配置し、問題解決能力については、社会で必要な問題解決の理論や実践を学ぶ科目を配当し、令和5年度

入学生より全員必修としています。専門教育科目においても、概論から始まり、体系的に知識が学べるように配置しています。

また、大学全体の卒業認定・学位授与の方針を基に、各学科でも卒業認定・学位授与の方針を策定しています。それに関連する科目は「履修体系図」に示されています。履修登録や授業受講の際に提供されるシラバスにも、卒業認定・学位授与との関連性が示されています。

さて、大学では、卒業認定・学位授与の方針に示された知識・技能・態度を測定し、評価する仕組みを整えています。例えば、授業での成績評価や学生アンケートだけではなく、ルーブリックというツールがよく活用されています。ルーブリックは、学修成果を記述で表現し、学生の学修成果を評価するための有効なツールです。

さらに、データサイエンス・AI教育プログラムでは、学修成果の可視化を目的としてデジタル証明書の

オープンバッジを導入しました。このように大学は、卒業認定・学位授与を通じて学生に求める知識・技能・態度を明確化し、学修成果の可視化にも取り組んでいます。

ぜひ、この機会にみなさんが淑徳大学、そして所属学科の卒業認定・学位授与の方針を確認し、自身の学修目標を明確にしてみましょう。淑徳大学は学生のみならずの成長を全力でサポートし、社会で活躍できる力を身につけられるよう、さらに教育の質を高めて参りたいと思います。

※卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）はみなさんに配布している「履修の手引き」や大学のホームページに掲載し、学内外に広く公表しています。



## 淑徳大学 卒業認定・学位授与の方針 （ディプロマ・ポリシー）

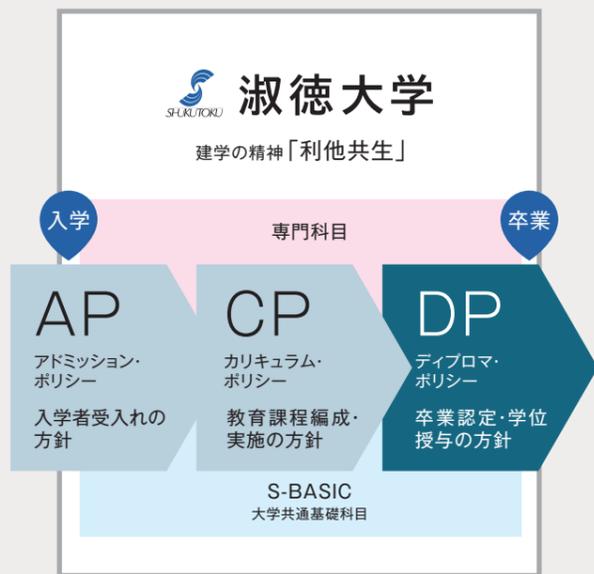
本学は、大乗仏教の精神に基づき、社会福祉の増進と教育とによる人間開発、社会開発に貢献する人材の養成を目的としている。この教育理念の実現に向け、学則に示す卒業要件を満たし、以下に示す知識・技能・態度を有する者に卒業を認定し、学位を授与する。

### 1 社会の構成員としての基本的知識・技能・態度

- (1) コミュニケーション能力及び情報リテラシーを修得している。
- (2) 課題発見・問題解決能力を持ち、主体性をもって協力し合う態度を身につけている。
- (3) 人類の文化や社会と自然等に関する広い知識と理解を有している。

### 2 専門教育分野における知識・技能・態度

- (1) 専門分野の基礎である原理・原則を理解し、それに基づく体系的専門知識を修得している。
- (2) 修得した知識を、実践の場で活用しうる技能・能力を身につけている。



### 卒業認定・学位授与の方針 （ディプロマ・ポリシー）と 3つの方針

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）とは、大学や学部・学科などの教育理念に基づいて、卒業を認定し学位を授与する際にどのような力を身につけた人を対象にするかを定める基本的な方針です。大学での学位取得に向けては、この方針を達成するために「教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）」が策定されます。これは、どのような教育内容や方法を実施し、どのように学修成

果を評価するかを定める基本的な方針です。また、ディプロマ・ポリシーやカリキュラム・ポリシーを基に、入学者を受入れる方法について定めたのが「入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）」です。大学はこの方針に基づき、教育や入学者受入れとして入試を実施しており、淑徳大学では大学全体及び各学科でそれぞれ作成し、大学のホームページで公開しています。

公開中の「3つの方針」は  
コチラから！



### 学修成果の可視化 「オープンバッジ」について

淑徳大学では2022年度入学生より、全ての学部学科でリテラシーレベルの数理・データサイエンス・AI教育に取り組んでいます。この数理・データサイエンス・AI教育では、該当3科目の単位及び条件を満たした学生を「数理・データサイエンス・AIが社会でどのように活用され、新たな価値を生み出しているかを理解することができ、AIや社会の課題を適切に読み解き、判断することのできる力を身につけている」リテラシーレベルであると認定し、学修成果を可視化したデジタル証明書のオープンバッジを希望者に発行しています。

オープンバッジは画像ファイルだけではなく、プログラムを終了し得られた個人の学修成果、スキル及び知識がメタデータとして登録されています。このため、オープンバッジを得た学修者はスキル・学歴等をSNSや履歴書ポートフォリオなどで第三者に共有することができます。今後、大学の他の教育プログラムでもオープンバッジを活用していきます。

## 淑徳大学「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」

### オープンバッジ メタデータ

このバッジの取得者は、来たるデジタル社会において、日常生活や社会で数理・データサイエンス・AIを理解し、使いこなすことができると判断されています。

本バッジは淑徳大学が設定している数理・データサイエンス・AI教育プログラムにおける3つの科目、「情報リテラシー」、「データリテラシー」、

「情報社会とデータサイエンス」を受講し、修了した人物に付与されます。

彼ら修了生は数理・データサイエンス・AIが社会でどのように活用され、新たな価値を生み出しているかを理解することができ、AIや社会の課題を適切に読み解き、判断することのできる力を身につけています。



#### 取得条件

- 「R5:情報リテラシー（必修）」を修了する。
- 「R5:データリテラシー（必修）」を修了する。
- 「情報社会とデータサイエンス（選択）」を修了する。

#### スキル

- データサイエンス
- データリテラシー
- データ分析、考察
- データを読み、処理し、説明する
- 表計算の知識とスキル
- データ分析結果の可視化
- 文章処理
- 文書処理の知識とスキル
- データ、AIの基礎
- データ、AI活用の最新動向
- データ、AIが使われている技術に関する理解
- 個人情報保護
- 情報セキュリティ
- データ保護

# 海外研修

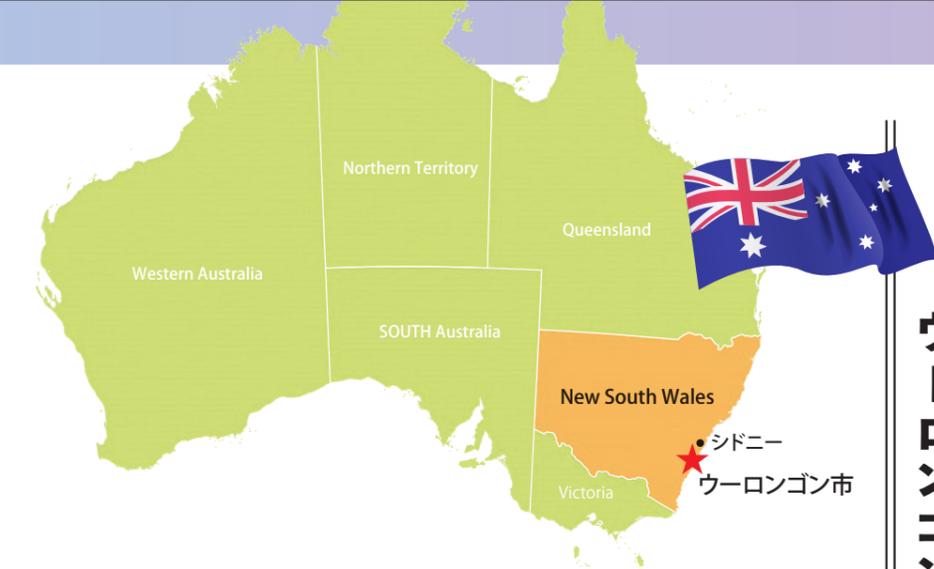
## ウーロンゴンカレッジ 英語・異文化研修

淑徳大学では、学生のみなさんにさまざまな海外研修プログラムを提供しています。海外研修を通して、単に語学力を向上させるだけでなく、異文化への理解を深め、視野を広げ、国際社会に適応できる人材の育成をめざしています。今回は、春に行われたオーストラリアでの研修の様子をご紹介します。



食をホストファミリーとともにします。英語の授業は自分のレベルに合ったクラスで学ぶことができ、1クラス15人程度でコミュニケーション能力の向上をめざします。研修は、午前中が英語の授業、午後は自由参加のキャンパスアクティビティ(ヨガ、サッカー、バレーボール、パーベキュー、現地学生との交流会など)が組み込まれ、好きなものに参加できます。なお、研修中は現地インストラクターや留学生アドバイザーによるサポートも充実しているので、安心して留学生活を送ることができます。参加費は総額約60万円です(2022年度の場合)。

国際交流センターでは、募集時期になりましたら、S.N.A.V.Iや掲示等で説明会の実施について随時お知らせしていきます。オンライン説明会に加え、新年度には「留学と海外研修の違い」といった、留学の基礎のオリエンテーションもオンラインで実施して、本学で案内している海外研修について紹介しています。留学や海外研修に興味のある方は、ぜひ在学中に淑徳大学の海外研修にチャレンジしてみてください。なお、詳細は国際交流センターまでお気軽にお問い合わせください。



2023年2月25日〜3月26日オーストラリアニューサウスウェールズ州にあるウーロンゴンカレッジの4 Week Study Tour Programに、本学から1〜3年生まで9名の学生たちが参加しました。ウーロンゴンカレッジは、ウーロンゴン大学の付属カレッジです。ウーロンゴン大学はシドニーにほど近い距離にある1951年創立の総合公立大学で、国内キャンパスのほか、海外4か国に国際キャンパスをもっています。カレッジは、大学進学・編入のためのファウンデーションコース・ディプロマコースを提供するとともに、語学学校としての役割も果たしています。



雄大なウーロンゴンビーチを背景に



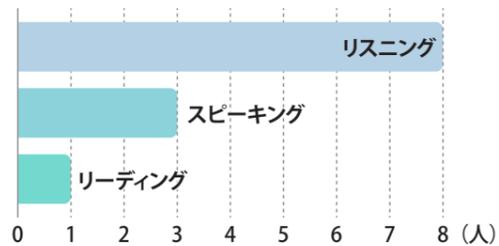
### 研修に参加されたみなさんに聞いてみました!

#### Q1 研修に参加した理由や目的は何ですか。

- 英語力を高めるため
- ホームステイを経験したい
- 海外で異文化に直接触れたい
- 学生時代に、海外に出てみたい
- 大学主催で安心なので



#### Q2 研修に参加したことで上がったと感じる英語の力は何ですか。(複数回答可)



#### Q3 ホームステイで楽しかったことや、嬉しかったことは何ですか。

- 一緒に料理をしたこと、ブルーマウンテンまで車でいったこと。
- ホストファミリーと毎晩映画をみたりゲームをしたりしたこと。親戚の子どもたちが家に来ることもあり、一緒に話したり遊んだり、買い物に行ったり、お出かけに誘われたりするの嬉しかった。
- ホストファミリーが日本の文化について知ろうと努力してくださったことが嬉しかったです。
- 自然が好きなホストファミリーだったので、友だちも一緒に川や森に行って見せてくれた。みんなでビーチでバーベキューをし、夕焼けを見たこと。
- ホストファミリーと犬の散歩に出掛けて、すごく素敵な景色を見せてもらったこと。
- ホストファミリーの子どもと仲良くなったこと。
- 現地で日本語を学ぶ学生と、お互い拙い英語、日本語を用いながらお話をする機会がありとても新鮮だった。
- 日本のお土産で味噌を持っていったらものすごく喜ばれたこと。



ホストファミリーとティータイム

#### Q4 最も思い出に残ったことは何ですか。

- ウーロンゴンビーチなど、たくさんの自然に触られたこと。
- クラスで折り紙を作って、現地の学生や先生方に配ったこと。教わるばかりで何かできないかなと思っていたので、少しでも恩返しになったかなと思います。
- サーフィンや買い物など、たくさんあります!
- 日本では味わうことのない街の雰囲気やフレンドリーさがとても思い出に残った。一人ひとりが自分らしさを出して生活していて、もっとここにいたい、と思った。
- ホストファミリーとの生活。最後にぬいぐるみももらいました。



折り紙で日本文化を紹介

#### Q5 研修に参加したことで変わったと感じる点がありますか。

- 海外の文化や生活を経験したことで、視野が広まり物事に対する考え方が大きく変わった。
- 他人とコミュニケーションをとることに苦手意識があったのですが、この研修でさまざまな人と交流することで、外交的な性格になれたと感じています。
- 一人で生きていく力や自信が身についたと思う。
- 英語が上手く話せず苦労するという実体験から、今後の目標を明確に持つことができた。
- 自分らしさを大切にするようになった。



シドニー国際空港到着後、出迎えスタッフと

- 物事の考え方が大きく変わったと感じた。たとえば文化の違い。特に食の好みの違いが大いにあると感じた。基本的に何でも食べられるが、味付けの違いを感じた。
- 以前は他者とコミュニケーションをとることに苦手意識を感じていましたが、さまざまな人と交流したり、経験を積んだりしたことによって、より外向的な性格になれたと感じています。
- 挑戦する力がついたと思います。何にも知らないオーストラリアで誰かもわからない人の家で、日本語の通じない学校、日常会話も英語だらけ。1カ月大変なことだらけでしたが、楽しいことの方が多く、親切にしてくれる方々や、優しく迎えてくれるホストファミリー、日本語でも理解しようとしてくれる学校の先生。本当に行ってきたと実感しました。
- 日本人の堅苦しい枠にはまったような生活とは反対に、自由にのんびりと暮らしている生活を見て、あんまり気を張らずに生きていくのもいいなあ、と思いました。



研修生同士の絆も深まりました

在学生紹介

障がい者アートをつづじて

多くの時間を費やし、自分たちで意見を出し合い、自らワークショップを企画する選択をした学生たち。今回は、そんな学生たちに話を聞きました。

学生紹介

ワークショップは、学生同士で意見を交え、学内で行うチームと学園祭に行うチームに分かれました。それぞれのチームの取材した学生たちを紹介します。



社会福祉学科 福祉デザイン専修の科目「福祉デザイン実践演習」では、社会福祉学科、経営学科、表現学科の3学科の学生で、障がい者アートをテーマに展開。今回はそんな学生たちの、積み重ねた意見交換から生まれたワークショップに着目したいと思います！

授業・発表会の様子。みなさん一生懸命取り組んでいますね

 学内 ZOOM 参加 内藤 百音さん 経営学部 経営学科 4年	 学内 鈴木 翔さん 総合福祉学部 社会福祉学科 2年	 学内 井原 咲希さん 総合福祉学部 社会福祉学科 3年	 学内 横澤 大樹さん 総合福祉学部 社会福祉学科 4年
 学祭 中村 春菜さん 人文学部 表現学科 3年	 学祭 田中 響子さん 人文学部 表現学科 3年	 学祭 越智 恵美さん 人文学部 表現学科 3年	 学祭 石川 直志さん 総合福祉学部 社会福祉学科 2年
 学祭 伊辺 聖野さん 総合福祉学部 社会福祉学科 4年	 学祭 田丸 千晃さん 総合福祉学部 社会福祉学科 4年		

障がい者アートを知ったきっかけを教えてください。

【井原】最初は知らなかったです。授業を通して初めて知りました。

【田丸】同じく授業で初めて知りました。福祉を学んでもなかなか知る機会がなかったです。

【内藤】TVの特集で知りました。それをきっかけに興味が出てきましたね。

学内チームに質問です。なぜ学内でのワークショップを選択したのですか。

【横澤】学内をもっと盛りあげたい、キラキラキャンパスにしたいと思ったからです。

【鈴木】学園祭の一部の企画として、学内で個の企画としたほうが、より注目され、障がい者アートを広められると思ったからです。

学祭チームに質問です。なぜ学園祭でのワークショップを選択したのですか。

【伊辺】学祭だといろんな人が来る

ので、学内外のたくさんの方に参加してもらえたらいいなと思っていました。

【石川】福祉の大学ということもあって、学内は「福祉」に対して関心がある人も多いと思うので、あまり関心がない学外の方にも「福祉」を身近に感じてほしいと思ったからです。

【中村 田中 越智】大勢の方が盛り上がる大学祭だからこそ、楽しみながら福祉アートを知っていただけるのではないかと考えたからです。

障がい者アートに対するイメージや意見を聞かせてください。

【横澤】最近では「障がい」の定義が曖昧になってきており、健常者と障がい者の線引きが難しくなっています。アートに、あえて障がい者を付ける必要はないのかなと思います。

【井原】授業を通してさまざまなアートを見た際に、実はこれも障がい者アートだったというのを後から知り、驚いたことがあります。アート自体の価値に区別するものはないのだと感じました。

中に気付いてもらえるといいなと思います。好きに表現していいよと言われたときに、どのように表現するのかが十人十色だと思いますし、自由に表現してほしいです。

【石川】ワークショップを通して、その人の見えなかった一面が見えてきて、その人の表現したいものや考えていることが少しでも多くの周りの人たちに

【中村 田中 越智】実際に体験して知っていただくこと、そして私たちも含めてアートを楽しむこと、その2点を大切にしていきたいです。

9月9日に大学内にてワークショップを開催いたしました。

子どもから大人まで、多くの地域の方々に参加いただき、みなさん思い思いのアートを描いてくれました！

全身が絵具まみれになるほど楽しんでもらったり、アートをうじて交流が深まったりと、当日は大盛況のうちに終了いたしました。アートを描くキャンパスは、不要となったアクリルパレットを再利用したり、絵具入れもリサイクルの物を使用したり、環境にも優しいワークショップとなりました。

学内ワークショップ当日の様子



学内チーム(左から、井原さん、鈴木さん、横澤さん)

【伊辺】はじめは障がい者アートに対して好印象を持っていたのですが、知っていくうちに印象も変わり、デザイン性が優れているものが多いなと感じました。今では買に行きたいと思っています。

【内藤】アートは芸術家のものであると思っていたのですが、障がい者アートについて知っていくうちに、芸術方面を専門でやっている人でなくても、誰でもアートを生み出すことが出来るのだと気が広まりました。

【鈴木】障がい者アートと称さない方が、見る側の先入観がないので、あえて区別する必要はないと思います。興味を持ったアートを作成したのが、たまたま障がいを持っている人だった、それでいいと思っています。ただ、支援という面では、障がい者アートとして、分けて表現をする必要もあるのかもしれないですね。

【田丸】障がい者アートと聞いたとき、今まで触れる機会がなかったのに、イメージすら湧かなかったのですが、実際に見てみると、お洒落なものや、見たことのない新しい発想の絵が多く、いいなと感じました。

楽しむ手法が障がい者アートであって、みんなが楽しんだ結果として、差別がなくなっていくといいなと思います。

【内藤】健常者・障がい者に関係なく、障がい者アートの存在を多く広めたいです。障がい者アートを知る機会はないかなと思います。なので、多くの人に、知る機会を与えることが出来たらいいなと思っています。

【横澤】データとして、まだまだ「障がい」に偏見や差別があるので、なくすことは難しくても、偏見や差別を減らしていきたいと思っています。



学祭チーム(左から、石川さん、伊辺さん、田丸さん)

【井原】多くのひとに楽しんでもらうのと同時に、自分たちも楽しみたいです。福祉を知ってくれる人が増えて、コミュニティが広がっていったらいいなと思います。

【鈴木】大きな目的は「みんなで楽しいことをしたい」です。楽しいことをしている時は、相手障がい者かどうかなど、気にしないと思います。

【伊辺】枠にとらわれない、普段では出来ない体験してもらい、自分自身でも気付けない一面を知れるきっかけ作りになればいいなと思っています。

【田丸】障がい者アートであっても、「アート」というくくりには変わらないので、美術館に飾られている

# 学祖・長谷川良信先生の足跡

—写真から広がる長谷川良信先生の世界—



▲中央に長谷川良信先生

### 写真について

1965年3月15日に撮影された「東京高等保育学校」第17回卒業式の記念写真です。淑徳短期大学内で撮影されました。卒業生と教職員が写っています。この年4月に淑徳大学が開学しています。

## 1 保母養成機関創設

東京保育学校は、東京都文京区小石川の淑徳高等女学校の校内に保母専門の養成機関として創設されました。1944年(昭和19年)4月に第1期生50名余りが入学し(同年3月認可)、養成期間は1年でした。

## 2 良信先生、校長に就任

淑徳高等女学校は、校祖 輪島 聞声先生が1892年(明治25年)に淑徳女学校を設立し、浄土宗教育資団が経営していました。女子教育の実績が評価され、1944年12月、良信先生が第8代校長に就任しています。

そして、1945年4月には東京保育学校の校長も良信先生が兼務しました。

## 3 良信先生の誓い

太平洋戦争中、1945年3月10日の東京大空襲、5月25日の大空襲でB-29の度重なる集中爆撃、焼夷弾攻撃により東京保育学校の校舎は、淑徳高等女学校とともに全焼しました。このとき、良信先生は焼け跡にすべての教職員・生徒を集めます。そして、涙ながらに復興と再建を誓ったそうです。

## 4 学校を活かす

東京保育学校は、終戦の翌年1946年に東京都豊島区西巣鴨のマハヤナ学園内を借りて事業を再開し、1947年には東京高等保育学校と校名も改称しました。1963年に淑徳短期大学内に移転したため、今回の写真は短大内で撮影されました。夜間授業であり、教鞭をとった短大やマハヤナ学園の関係者も卒業式に臨んでいます。

## 5 東京高等保育学校のその後

1978年3月、淑徳高等保育学校(1959年開校)とあわせて改組し幼稚園教員養成の機関としても認可され、4月に専修学校法に則り、淑徳保育専門学校に改称。1982年4月に生活文化専門課程を増設、校名を淑徳保育生活文化専門学校とします。

1993年(平成5年)に淑徳文化専門学校に校名を変更し、男女共学になりました。1994年日本語研修科が淑徳日本語学校として独立し、2004年には、専門学校は淑徳幼児教育専門学校に改称します。

その時代のニーズに合わせ、変化を遂げ続けましたが、2012年に淑徳幼児教育専門学校は閉校となりました。

### 参考文献

- 長谷川匡俊 『長谷川良信の生涯 トゥギャザー ウィズ ヒム』2020年
- 『大乗淑徳学園100周年記念写真集』1996年
- 『淑徳保育生活文化専門学校』学校案内(1985年)

(淑徳大学アーカイブス)

共に生きる時代

だからできること

# 楽しみながら、周りと力を合わせて社会課題の解決



池田町社会福祉協議会(北海道中川郡)事務局長

## 佐藤 智彦さん

Sato Tomohiko

社会福祉学部(当時)

社会福祉学科 福祉心理コース 1992年卒



町内の大型店舗の空きフロアを活用し、住民の健康維持に役立つ取り組みを行っています

仲間と過ごした大学での時間はかけがえない財産  
福祉の専門家になって多くの困っている人を助けたいと思い、淑徳大学に進学。卒業後は東京の介護施設に勤務し、その後出身地の北海道に戻りました。十勝にある池田町社会福祉協議会で介護支援専門員や生活支援コーディネーターの仕事をし、現在は事務局長として地域住民の方への介護予防活動や各福祉団体の取りまとめなどに携わっています。



2015年から3年間、北海道生活支援コーディネーター養成研修講師を務めました

「生きる力」を支える地域福祉に取り組む  
人口が7000人にも満たない池田町は、50%以上が65歳以上の高齢者が占める限界集落

大学時代の印象深い思い出に、所属するボランティアサークルが学園祭で喫茶コーナーを出店した時がありました。壁面をちぎり絵で装飾する企画でデザインを担当し、仲間と手分けしてひたすら制作に励みました。各パーツが出来上がった日の早朝、仲間と一緒にパーツを貼り合わせて一つの作品を完成させた感動は忘れられません。何年か後に管理職になった同級生から、「あの時の経験が今の仕事に活かしている」と言われ、とても嬉しく感じました。私自身、仲間と楽しんで取り組んだサークル活動のよさなことを池田町の人たちにも体験してほしいという思いでさまざまな企画を提案しています。



地域住民が楽しみながら参加できるさまざまなイベントを提案、伴走支援



社会福祉法人池田町社会福祉協議会 www.iked-shakyo.jp

# 新設学科 第一期生に聞きました！

埼玉キャンパス

地域創生学部 地域創生学科



千葉 洵平さん

## 実習を経て感じた知識の大切さ

「地域を調べるとはということなのか」を、座学で学ぶ「地域創生総論」という授業がありました。この授業では、5人の先生方がそれぞれ専門とする分野の視点から地域創生を教えてくださいました。私たちが多角的な視点を持つことができました。地域創生学科は実習が多いことが特徴ですが、座学でも地域をより深く知るための知識をつけられるからこそ、実習が意味を成すのかなと感じています。地域創生学科が第1クォーターで力を入れていたことに、三芳町でのフィールドワークによる「地域理解実習」という実習がありました。座学でも知識をつけていたことで、さまざまな角度から地域を見ることができました。



武田 梨沙さん

## 三芳町歩きで体験した、直接実習に行く意味

地域創生学科では、5月に三芳町のまち歩き実習を行いました。これは、自分の目で地域を知ることで、地形や風景に着目し、これから始まる茨城県笠間市・埼玉県八潮市・富士見市・三芳町の地域実習に活かしていくというものです。実習では、三芳町歴史民俗資料館・旧島田家住宅・旧池上家住宅などを訪問しました。資料館では、三芳の歴史を学び、2つの住宅からは、当時の住民の生活様式や文化財保護の仕方を学びました。この体験から、バスや電車を利用するのではなく、徒歩で移動することに意味があると気付かされました。いつもは通学にバスを利用していますが、自分の足で道を歩くと、土地の高低差や畑の大きさを直接感じることができます。また、実習前後を比べると、風景などから地域の特徴を考えるようになりました。このように、自ら足を運んで学んだ地域の魅力を先生や友達と共有しています。

東京キャンパス

人文学部 人間科学科

## 課外のボランティアで人生経験を豊かに

人間科学科には心理学関連の科目が多いのですが、1年生の現在は心理学の基礎的なことを学んでいます。心理学にも、社会心理学や教育心理学、犯罪心理学などさまざまな種類があり、これらが楽しみです。今までで一番印象に残っている授業の内容は、人間の性格に対して、環境の影響が遺伝の影響のどちらが強いのかということについて、人生の初期は遺伝の影響が強いが、生きていくうちに人々の影響を受けて性格が変わっていくという説を習いました。人は、そんなにも共に影響を受けて生きていることに驚きました。授業の他にも、希望者が参加するボランティア活動が印象的です。最初に募集があったのは、教室に行きづらい子どもとの話し相手や、高齢者のサロン活動への参加です。こういったボランティア活動は人間のことを考える学科ならではの感覚で、4年間で、授業だけでなく人生経験を広げたいと考えています。



小堀 将輝さん

## 心理学をベースに多様な分野が学べる

4月に「人間科学概論」で行った自己紹介すごろくが印象的でした。グループでサイコロなどを作って、完成したすごろくで遊ぶワークなのですが、最初は会話がごちゃごちゃ緊張していたものの、ワークを進めていく内に好きなものや趣味などが自然と分り会話も弾んでいきました。共通点を見つかるほど打ち解けやすくなる心理作用を感じることができました。このようにグループワークが多いのも学科の特徴です。授業内で意見を交換することで授業理解も深まりますし、考えの幅が広がります。S-BASIC科目の「人間心理と人間行動」でも、人間科学科の専門科目を学びながらだと、授業で扱う人間の各発達段階での心理的問題やそれに対する対処法、援助法について、自分自身も成長の中で感じたことがある部分と照らし合わせるなど、自分の日常とより照らし合わせて学ぶことができます。このように人間科学科では、心理学を軸に福祉、健康、教育について学んでいます。



岡部 芽依さん

# 教員に聞きました！



第73回 芸術選奨文部科学大臣賞(評論等部門)受賞  
第1回 音楽本大賞 個人賞受賞



東京キャンパス 人文学部  
**中野 正昭**教授  
受賞作品  
**ローシー・オペラと浅草オペラ**  
大正期翻訳オペラの興行・上演・演劇性  
(森話社、2022年)

## ご著書の内容に関するお話

大正期のオペラ受容を翻訳オペラを対象に「興行」「上演」「演劇性」の観点から検証しました。明治期がオペラ上演の実験期だったのに対し、大正期は翻訳オペラを中心にオペラの興行化が試みられました。その代表が帝国劇場歌劇部、元帝劇歌劇部の指導者だったイタリア人G・V・ローシー率いるオペラ団「ローシー・オペラ」、当時「東洋の歓楽街」と呼ばれた浅草で花開いた「浅草オペラ」です。大衆オペラである浅草オペラの登場は、大正期のオペラ興行がひとつの実になったものといえます。これまでオペラ受容史の研究は専ら音楽学、音楽史によって行われましたが、西オペラという手本を持つ音楽史では、どうして西欧との比較や発展史的視点から大正期のオペラは低く見られがちで、特に浅草オペラはオペラ受容史の徒花だったとされて

きました。そこで本書では、新たに観客をひとつの軸に据え、常に観客の存在を念頭に考察するのが、私の専門とする演劇学の特徴です。オペラを音楽ではなく、音楽にのせて上演される演劇、観客の趣味嗜好に込めながら作り上げられた芸術であり娯楽でもある舞台」と捉え直し、「興行」「上演」「演劇性」の三つの要素から改めて検証しました。大正期の翻訳オペラを、音楽学・音楽史のフィールドから、演劇学・演劇史のフィールドへと読み替えることで、観客を相手に試行錯誤を繰り返した大正期ならではのオペラ受容の意義と面白さを明らかにしたいということが出来ます。

**先生の学内での授業やそれを通じて学生たちに学んでほしい事柄**

現在は小説、映画、ゲームなどさまざまなコンテンツが安く簡単に手に入る時代になっ

## 今後の研究テーマ

大正期の次は昭和期の音楽劇「ミュージカルレビュー」の受容を「大衆モダンズム」の観点から研究する計画を立てています。また私は九州出身なのですが、地方の劇団や演劇ジャンルの東京へ進出し、全国的な存在となる際にどのような課題や変化があったのかも研究する計画を立てています。全国的な存在になるということは、単に嬉しいことばかりではなく、得たものがあれば、失ったものもあります。成功と引き換えに何を失ったのか、その時の関係者の葛藤のようなものを明らかにしたいと考えています。どちらも既に着手している研究テーマなので、なるべく早くまとめ、さらに次の研究テーマへ進みたいと思います。

## 一般選抜の試験会場を増設

淑徳大学は、全国からの学生の入学を歓迎しております。地域での学びのプログラムに加え、これまで入学試験実施会場となっていた千葉キャンパス、埼玉キャンパス、東京キャンパス、水戸市会場、仙台市会場、新潟市会場に続き、静岡市会場、郡山市会場、宇都宮市会場が今年度より新たに加わりました。(三島市会場は静岡市会場に変更となりました)



東京キャンパス

千葉キャンパス

千葉第二キャンパス

海外の学生さんが淑徳大学へいらっしゃいました

6月27日、ベトナム・ビンミン日の出留学センターより、将来日本への留学を考えている中学生・高校生合わせて31名の学生さんと4名の先生方が日本文化体験の一環として東京キャンパスを訪問されました。交流プログラムでは、教育学部の松家先生と学生たちが、パネルシアターを披露。歌ったり、振り付けを加えたり、光る七夕飾りを作ったりしながら楽しみました。言葉がなくても、身振り手振りを介して伝わる面白さを味わいました。留学生別科の神山先生と渡辺先生による日本語学習アクティビティでは、夏にちなんだ日本の文化が紹介されました。ベトナムでは馴染みのない「スイカ割り」を体験していただき、「前!前!」「右!右!」など、日本語の掛け声を使って大盛り上がり。その後、みんなで割った甘くておいしいスイカを堪能しました。



オレンジの服で、パネルシアターを披露する教育学部の学生たち(左から、石地さん、大坂谷さん、長谷川さん、柳澤さん)とそれを楽しむベトナムのみなさん



楽しい日本の思い出をたくさん作れましたね!



東京キャンパスの校舎を背景に記念撮影



初めてのスイカ割り

6月7日、台湾大仁科技大学社会福祉学科教員と学生22名が本学に來校されました。引率の徐嘉隆先生は本学社会福祉研究科の卒業生でもあり、同大学で、国際交流センター長をつとめておられます。一行は特別養護老人ホーム 淑徳共生苑の施設見学のほか、大巖寺を見学しました。

教室に戻り、社会福祉学科 齋藤 順子 教授による日本における社会福祉専門職の模擬授業を受講しました。みなさん熱心に受講し、積極的に質問もされていました。今後は、両大学間の国際交流、短期プログラムの実施など、学生または教員の交流を通じて、さまざまな国際交流活動を続けてまいります。



恩師の長谷川理事長にごあいさつ



大巖寺を始め、大学関連施設を見学しました



山口学長や恩師の先生方との懇談会も行われました

キッチンカーが導入されました

東京キャンパスでは、新年度が開始した4月11日より「キッチンカー」を導入しております。4月は、火曜日・クレープ、水曜日・ブリトーと1週あたり2回の出店でしたが、売上が好調であったため5月からは4回(木曜日・魯肉飯、金曜日・タコライス)へと出店事業者が増加しました。導入して約2か月が経過し、利用する学生からは「普段学食や売店では味わうことのできない商品を購入できてうれしい」「本格的な味のため、アルバイト代が入った時の自分へのご褒美として買った」などの声が挙がっています。

また、学生以外にも購入することができ、近隣住民の方や帰宅途中の高校生などにも利用いただいております。

※6/15現在、月から金曜日まで週5回の出店となりました。



金曜日のキッチンカー。種類が多くて迷ってしまいます



美味しそうなメニューに思わずニコリ!

千葉キャンパスでも、4月にやってきたキッチンカーが大盛況でした。おにぎり、フライドポテト、ケバブ、クレープ、タピオカドリンクのような人気メニューのほか、だし巻きドック、中華ブリトー、パンケーキバーガーといった変わり種も。学生・職員のみなさんから「美味しかった!」という声をたくさんお寄せいただき、アンケートでは94.9%もの方々から「また来てほしい!」とご回答をいただきました。「美味しいもので授業ががんばれる!」という学生さんの声も聞かれました。コロナが落ち着き、日常を取り戻しつつある学生生活の中で、大学の活気を取り戻すきっかけの一つになったのではないのでしょうか。

看護栄養学部にも、7月にキッチンカーがやってきました。キッチンカーの出店は以前から学生の話題の一つになっており、クレープやピタパンなど、日替わりでさまざまなメニューを選ぶことができます。開店と同時に連日たくさんの学生や教職員が列をなしていました。勉強の息抜きに青空の下で食べるちょっとおしゃれなランチ、友人との会話も弾み、キャンパスライフがより一層楽しく華やかになりました。



勉強の息抜きには甘いものが食べられるのが嬉しいです!

埼玉キャンパス

淑徳大学 教育学部 新入生セミナー  
〈教育学部・地域創生学部〉



学生リーダーがパネルシアターを上演します

4月7日(金)～8日(土)、教育学部は新潟県南魚沼郡湯沢町、地域創生学部は茨城県笠間市にて、1泊2日の新入生セミナーが行われました。教育学部では、コロナ禍の下で3年間実施がなかったため2019年4月以来の開催、新設の地域創生学部では初開催です。

セミナーでは大学生生活のガイダンスやレクリエーションなどが行われますが、特に地域創生学部のセミナーでは学祖 長谷川 良信先生の出生地である茨城県笠間市の地域を巡っての体験活動が行われました。

当日の運営は、両学部のセミナーとも、教育学部の新2年生以上の学生から募集した学生リーダーが多くを担いました。学生リーダーは自分たちの新入生セミナーを経験していないなかで、1年生に楽しんでもらうために、何カ月も前から、時に夜遅くまで当日のレクリエーションなどを企画してくれました。

両学部の新入生からは笑顔が溢れ、大学生生活の良いスタートを切ることができた2日間となりました。



笠間稲荷神社門前通りのまち歩き



レクリエーションを楽しむ新入生

学生リーダーの感想です。  
「実は、新入生セミナーが成功することは確信していました。学生リーダーのメンバーで頑張ったというもありますが、12月のウィンターセミナーや3月のスプリングセミナーでの1年生の様子を見ていると、萎縮しすぎず、積極的に関わりに行く姿があったからです。

私たち学生リーダーは、関わる機会をつくることはしますが、そこから先の関わりは新入生同士に任せることになります。そのようななか、新入生同士で楽しそうな雰囲気をつくることのできたのは、新入生たちの魅力なのだと思います。」

来年度の学生リーダーには、その活躍に間近で触れた多くの現1年生が加わってくれるでしょう。

千葉第二キャンパス

淑徳オレンジカフェを開催しました  
〈看護栄養学部〉

2023年7月1日(土)に、千葉市中央区松ヶ丘地区にて看護栄養学部・地域連携委員会企画のオレンジカフェを開催しました。オレンジカフェ(認知症カフェ)とは、認知症の人やご家族、地域住民や専門職等が自由に集い、認知症の症状の悪化予防や介護負担の軽減等をはかることを目的とした集いの場です。

今回は七夕創作活動というテーマで、星と貝の形をした飾りの作成、折り紙を用いた天の川や提灯の笹飾り、短冊を作っていました。学生ボランティアスタッフが参加者一人ひとりに丁寧に説明をすることができ、色々とお話をしながら和やかな雰囲気で行うことができました。完成した笹を見て、参加者様から「華やかで素敵ね」といった声をいただき、学生ボランティアスタッフも改めて地域住民の方との交流を深めることが出来たようです。



みなさん、楽しみながらも真剣な眼差しで作成中です!

看護学科「卒業生の集い」を行いました  
〈看護栄養学部 看護学科〉

7月8日(土)に千葉第二キャンパスにて、看護学科「卒業生の集い」を実施しました。2023年3月に卒業し、看護師や保健師として活躍している43名が学び舎に戻ってきました!山口学長や同窓会代表幹事の長澤様からご挨拶をいただいた後、食堂「リラ・カフェ」にて食事をしながら、学友たちと看護職1年目の大変さを共有したり、先生方の1年目の失敗エピソードを聞いたりするなど、楽しく近況報告をしました。参加者からは終了後、「とても話しやすい雰囲気、友人や先生方と会えてとても有意義な時間でした」などの意見が寄せられました。仕事で疲れたら、いつでもキャンパスの先生方や職員の方々に会いに来てくださいね。卒業生の皆さんの今後の活躍を応援しています!



看護職1年目ならではの大変さ、悩み、そしてやりがい...さまざまなことを共有しました



みんなで記念撮影。いい笑顔ですね!



# 学園祭・ホームカミングデー

一部オンラインでも開催します。詳細は特設サイトをご確認ください。

## 10/28(土)・10/29(日)



学園祭TOP



### ホームカミングデー

●千葉キャンパス 10/28(土)  
●千葉第二キャンパス

●埼玉キャンパス 10/29(日)

●東京キャンパス 10/28(土)

詳細は大学ホームページをご確認ください



<https://www.shukutoku.ac.jp/alumni/>

●千葉キャンパス

### 龍澤祭



特設サイトはこちら

<https://www.shukutokufes.com/chiba/>

●埼玉キャンパス

### 淑徳祭



特設サイトはこちら

<https://saitama.shukutokufes.com/>

●千葉第二キャンパス 10/28(土)のみ開催

### 翔蓮祭



特設サイトはこちら

<https://www.shukutokufes.com/chiba2/>

●東京キャンパス

### 淑徳祭



特設サイトはこちら

<https://tokyo.shukutokufes.com/>

発行日 | 2023年10月1日

編集 | 淑徳大学 大学広報誌編集委員会

発行 | 淑徳大学 大学事務局

#### □千葉キャンパス

総合福祉学部 コミュニティ政策学部  
大学院 総合福祉研究科  
〒260-8701  
千葉県千葉市中央区大蔵寺町200  
Tel 043-265-7331

#### □千葉第二キャンパス

看護栄養学部  
大学院 看護学研究科  
〒260-8703  
千葉県千葉市中央区仁戸名町673  
Tel 043-305-1881

#### □埼玉キャンパス

教育学部 地域創生学部  
〒354-8510  
埼玉県入間郡三芳町藤久保1150-1  
Tel 049-274-1511

#### □東京キャンパス

経営学部 人文学部 淑徳大学短期大学部  
〒174-8631  
東京都板橋区前野町6-36-4  
Tel 03-3966-7631

### 大学広報誌「Together」読者アンケートのお願い

大学広報誌「Together」は4月と10月の年2回発行しています。保護者や卒業生の皆様に向けて、「淑徳大学の今」をお届けします。皆様の貴重なご意見、ご感想をお聞かせいただきたく、右記QRコードより読者アンケートへのご協力をお願い致します。



<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSdB-ghIm4VVUKv95KmsCScn1XV5gW0M0Fm8lQbF4r3W2Jnw/viewform>



公式HP



公式Instagram



公式X



アドミッションセンター  
公式X



公式Facebook



淑徳大学

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

淑徳大学は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

淑徳大学は持続可能な開発目標 (SDGs) の達成に向け、積極的に取り組んでいます。

その一環として、この印刷物はFSC®森林認証紙と、地産地消・輸送マイルージに配慮したライズインキを使用しており、環境に配慮した印刷物として発刊しています。